

対象校No. 104
注4

学校コード F124110107141
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

事前相談

注2
三重大学大学院 工学研究科 機械工学専攻（M）

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

国立大学法人三重大学
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	企画総務部企画戦略チーム
職名・氏名	カチョウ オオハタ ナツ 課長・大幡 奈津
電話番号	059-231-9733（内線：9733）
（夜間）	059-231-9733（内線：9733）
e-mail	kikakika@ab.mie-u.ac.jp

- （注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例） 〇〇大学 △△学部 □□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

工学研究科

＜機械工学専攻（M）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人三重大学

(2) 大 学 名

三重大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒514-8507

三重県津市栗真町屋町1577

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(イトウ マサアキ) 伊 藤 正 明 (令和3年4月)		
研究科長	(イケウラ リョウジュン) 池 浦 良 淳 (令和3年4月)	(モリ カズオ) 森 香 津 夫 (令和5年4月)	任期満了のため(5)
専 攻 長	(ツジモト コウイチ) 辻 本 公 一 (令和4年4月)	(コタケ シゲオ) (ヤノ ケンイチ) 小 竹 茂 夫 矢 野 賢 一 (令和6年4月) (令和5年4月)	任期満了のため(6) 任期満了のため(5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
大学院工学研究科 機械工学専攻 修士（工学）	工学関係	2 年	55 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	110 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	55人 0人 (-) [ー]	55人 0人 (-) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	春季入学以外の 学期区分を設け る予定	1.13倍	ー	
志願者数	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	68 (-) [0]	人 － (-) [-]	70 (-) [2]	人 － (ー) [ー]				
受験者数	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	68 (-) [0]	人 － (-) [-]	69 (-) [2]	人 － (ー) [ー]				
合格者数	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	66 (-) [0]	人 － (-) [-]	64 (-) [0]	人 － (ー) [ー]				
B 入学者数	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	64 (-) [0]	人 － (-) [-]	62 (-) [0]	人 － (ー) [ー]				
入学定員超過率 B／A	ー		ー						1.16		1.12					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	64 [-] (-)	0 [-] (-)	62 [-] (-)	 [] ()	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	63 [-] (-)	 [] ()	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	 [] ()	 [] ()	
計			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)			 [] ()	 [] ()	64 [-] (-)	125 [-] (-)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和5年度	64 人	1 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	1 人	0 人	除籍(1人)
令和6年度	125 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{64} = \boxed{1.56} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 機械工学専攻（M）>

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
研究科 共通科目	知的財産権出願特論	1前		1							兼2
	ISO学特論	1後		1							兼1
	工学展望特論(社会人向け)	1・2前		2		8	11				兼66
	ベンチャービジネス特論	1後		1							兼5
	論文発表演習	1・2通		1		8	11				兼66
	企画力養成演習	1後		1							兼2
	大学院・国内インターンシップ	1・2通		2		8	11				兼66
	大学院・長期インターンシップ	1・2通		3		8	11				兼66
	国際特別講義Ⅰ	1・2通		1		8	11				兼66
	国際特別講義Ⅱ	1・2通		1		8	11				兼66
	小計(10科目)	—	0	14	0	8	11	0	0	0	兼76
国際 教育 科目	コミュニケーション英語	1・2通		1							兼4
	国際会議発表演習	1・2通		1		8	11				兼66
	学術英語論文発表	1・2通		1		8	11				兼66
	国際インターンシップ	1・2通		3		8	11				兼66
	短期留学	1・2通		3		8	11				兼66
	小計(5科目)	—	0	9	0	8	11	0	0	0	兼70
専攻 指定 科目	機械工学特別演習	1・2前	2				7		1		兼4
	小計(1科目)	—	2	0	0	0	7	0	1	0	兼4
研究 領域 教育 科目	固体物理学特論	1・2後		2		1			1		
	先端量子技術特論	1・2後		2		1			1		
	先端量子技術演習	1・2前		1		1			1		
	メカトロニクス工学特論	1・2前		2		1					
	メカトロニクス工学演習Ⅰ	1・2前		1		1			1		
	メカトロニクス工学演習Ⅱ	1・2後		1		1			1		
	ロボット工学特論	1・2前		2			1				
	ロボット工学演習Ⅰ	1・2前		1			1				
	ロボット工学演習Ⅱ	1・2後		1			1				
	機械情報システム特論	1・2後		2			1				
	機械制御工学特論	1・2前		2		1					
	機力・制御・情報演習Ⅰ	1・2前		1			1				
	機力・制御・情報演習Ⅱ	1・2後		1		1					
	固体力学特論	1・2前		2		1					
	固体力学演習	1・2後		1		1			1		
	バイオメカニクス特論	1・2後		1		1					
	品質工学・実験計画法特論	1・2前		2			1				
	品質工学・実験計画法演習	1・2後		1			1				
	連続体力学特論	1・2後		1		1					
	機械知能学特論	1・2前		2			1				兼1
	材料機能学特論	1・2後		1			1				
	接合工学特論	1・2前		1			1				
	接合工学演習	1・2後		1			1				
	難削材加工特論	1・2後		1			1				
	NC加工法実習	1・2前		1			1				
	ナノテクノロジー特論	1・2前		2		1					
	ナノテクノロジー演習	1・2後		1		1					
	トライボロジー特論	1・2前		2			1				
	トライボロジー演習	1・2後		2			1				
	機能加工特論	1・2前		2			1				
	機能加工演習	1・2後		2			1				
	多体系物理学特論	1・2前		2			1				
	多体系物理学演習	1・2前		2			1				
	流体工学特論	1・2前		2		1					

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
研究科 共通科目	知的財産権出願特論	1前		1							兼2
	ISO学特論	1後		1							兼1
	工学展望特論(社会人向け)	1・2前		2		8	11				兼69
	ベンチャービジネス特論	1後		1							兼5
	論文発表演習	1・2通		1		8	11				兼69
	企画力養成演習	1後		1							兼2
	大学院・国内インターンシップ	1・2通		2		8	11				兼69
	大学院・長期インターンシップ	1・2通		3		8	11				兼69
	国際特別講義Ⅰ	1・2通		1		8	11				兼69
	国際特別講義Ⅱ	1・2通		1		8	11				兼69
	小計(10科目)	—	0	14	0	8	11	0	0	0	兼78
国際 教育 科目	コミュニケーション英語	1・2通		1							兼5
	国際会議発表演習	1・2通		1		8	11				兼69
	学術英語論文発表	1・2通		1		8	11				兼69
	国際インターンシップ	1・2通		3		8	11				兼69
	短期留学	1・2通		3		8	11				兼69
	小計(5科目)	—	0	9	0	8	11	0	0	0	兼74
専攻 指定 科目	機械工学特別演習	1・2前	2				7		1		兼5
	小計(1科目)	—	2	0	0	0	7	0	1	0	兼5
研究 領域 教育 科目	固体物理学特論	1・2後		2		1			1		
	先端量子技術特論	1・2後		2		1			1		
	先端量子技術演習	1・2前		1		1			1		
	メカトロニクス工学特論	1・2前		2		1					
	メカトロニクス工学演習Ⅰ	1・2前		1		1			1		
	メカトロニクス工学演習Ⅱ	1・2後		1		1			1		
	ロボット工学特論	1・2後		2			1				
	ロボット工学演習Ⅰ	1・2前		1			1				
	ロボット工学演習Ⅱ	1・2後		1			1				
	機械情報システム特論	1・2後		2			1				
	機械制御工学特論	1・2前		2		1					
	機力・制御・情報演習Ⅰ	1・2前		1			1				
	機力・制御・情報演習Ⅱ	1・2後		1		1	1				
	固体力学特論	1・2前		2		1					
	固体力学演習	1・2後		1		1			1		
	バイオメカニクス特論	1・2後		1		1			1		
	品質工学・実験計画法特論	1・2前		2			1				
	品質工学・実験計画法演習	1・2後		1			1				
	連続体力学特論	1・2後		1		1			1		
	機械知能学特論	1・2前		2		1	0				兼0
	機械知能学演習Ⅰ	1・2前		1		1			1		
	機械知能学演習Ⅱ	1・2後		1		1			1		
	材料機能学特論	1・2後		1			1				
	接合工学特論	1・2前		1			1				
	接合工学演習	1・2後		1			1				
	難削材加工特論	1・2後		1			1				
	NC加工法実習	1・2前		1			1				
	ナノテクノロジー特論	1・2前		2		1					
	ナノテクノロジー演習	1・2後		1		1					
	トライボロジー特論	1・2前		2			1				
	トライボロジー演習	1・2後		2			1				
	機能加工特論	1・2前		2			1				
	機能加工演習	1・2後		2			1				
	多体系物理学特論	1・2前		2			1				
	多体系物理学演習	1・2前		2			1				
	流体工学特論	1・2前		2		1					

	流体工学演習	1・2前		2		1					
	エネルギー環境機械特論	1・2後		2			1				
	エネルギー環境機械演習	1・2後		2			1				
	応用熱工学特論	1・2前		2		1					兼1
	応用熱工学演習	1・2後		2		1	1				
	熱エネルギーシステム特論	1・2前		2		1					
	熱エネルギーシステム演習	1・2後		2							兼1
	流動現象学特論	1・2前		2		1					
	流動現象学演習	1・2後		2		1		1			
	環境流体熱工学特論	1・2前		2			1				
	環境流体熱工学演習	1・2後		2			1				
	小計(45科目)	—	0	73	0	8	11	0	4	0	兼3
	創成工学教育科目	生産管理論特論Ⅰ	1前	2							兼1
		生産管理論特論Ⅱ	1後	2							兼1
		ものづくり管理工学特論	1前	2							兼1
		実践企業学	1前	1							兼1
		造船工学特論	1後	2							兼12
		先輩から学ぶ先端科学技術	1後	2							兼8
		機械創成工学特論A	1・2前	1		3					
		機械創成工学特論B	1・2前	1		2	1				
		機械設計製作法特論及び演習・実習	1通	4		1	3		2		
		電気システム設計演習	1・2前	2							兼3
		環境創成実践特論	1前	2							兼1
		材料創成工学特論	1前	2							兼2
		建築学特別制作	1・2通	1							兼12
		建築学特別調査	1・2通	1							兼12
		情報創成工学特論	2後	2							兼13
		小計(15科目)	—	0	27	0	5	4	0	2	0
特別研究	機械工学特別研究Ⅰ	1前	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅱ	1後	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅲ	2前	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅳ	2後	2			8	11				
	小計(4科目)	—	8	0	0	8	11				0
合計(80科目)			—	10	123	0	8	11	0	5	0
卒業要件及び履修方法											
(1) 2年以上在学し、選択した研究領域プログラムあるいは、創成工学プログラム、国際プログラムで次のとおり単位を修得する。 《研究領域プログラム》 専攻指定科目を2単位、研究科共通科目を3単位以上、国際教育科目を2単位以上、研究領域教育科目を8単位以上(特論6単位以上、演習2単位以上)、創成工学教育科目を4単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 ただし、社会人学生は次のとおりとする。 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から4単位以上、研究領域教育科目を4単位以上、創成工学教育科目を2単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 《創成工学プログラム》 専攻指定科目を2単位、研究科共通科目を3単位以上、国際教育科目を2単位以上、研究領域教育科目を4単位以上、創成工学教育科目を8単位以上、特別研究を8単位修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 ただし、社会人学生は次のとおりとする。 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から4単位以上、研究領域教育科目を2単位以上、創成工学教育科目を2単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 《国際プログラム》 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から2単位以上、研究領域教育科目を12単位以上(特論8単位以上、演習4単位以上)、特別研究8単位修得し、修得単位数の合計が30単位以上となること。ただし、合計30単位の中には、国際対応科目を12単位以上含む必要がある。 (2) 必要な研究指導(研究倫理教育を含む)を受けたうえで、学位論文の審査及び最終試験に合格する。 (3) 国際会議などで英語による研究発表を行う。											

	流体工学演習	1・2前		2		1					
	エネルギー環境機械特論	1・2後		2			1				
	エネルギー環境機械演習	1・2後		2			1				
	応用熱工学特論	1・2前		2		0	1				兼1
	応用熱工学演習	1・2後		2		0	1				
	熱エネルギーシステム特論	1・2前		2		0	1				兼1
	熱エネルギーシステム演習	1・2後		2							兼1
	流動現象学特論	1・2前		2		1					
	流動現象学演習	1・2後		2		1			1		
	環境流体熱工学特論	1・2前		2			1				
	環境流体熱工学演習	1・2後		2			1				
	小計(47科目)	—	0	75	0	7	11	0	4	0	兼2
	創成工学教育科目	生産管理論特論Ⅰ	1前	2							兼1
		生産管理論特論Ⅱ	1後	2							兼1
		ものづくり管理工学特論	1前	2							兼1
		実践企業学	1前	1							兼1
		造船工学特論	1後	2							兼12
		先輩から学ぶ先端科学技術	1後	2							兼4
		機械創成工学特論A	1・2前	1		3					
		機械創成工学特論B	1・2前	1		1	1				兼1
		機械設計製作法特論及び演習・実習	1通	4		1	3		2		
		電気システム設計演習	1・2前	2							兼3
		環境創成実践特論	1前	2							兼1
		材料創成工学特論	1前	2							兼4
		建築学特別制作	1・2通	1							兼12
		建築学特別調査	1・2通	1							兼12
		情報創成工学特論	2後	2							兼16
		小計(15科目)	—	0	27	0	4	4	0	2	0
特別研究	機械工学特別研究Ⅰ	1前	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅱ	1後	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅲ	2前	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅳ	2後	2			8	11				
	小計(4科目)	—	8	0	0	8	11				0
合計(82科目)				10	125	0	8	11	0	5	0
卒業要件及び履修方法											
(1) 2年以上在学し、選択した研究領域プログラムあるいは、創成工学プログラム、国際プログラムで次のとおり単位を修得する。 《研究領域プログラム》 専攻指定科目を2単位、研究科共通科目を3単位以上、国際教育科目を2単位以上、研究領域教育科目を8単位以上(特論6単位以上、演習2単位以上)、創成工学教育科目を4単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 ただし、社会人学生は次のとおりとする。 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から4単位以上、研究領域教育科目を4単位以上、創成工学教育科目を2単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 《創成工学プログラム》 専攻指定科目を2単位、研究科共通科目を3単位以上、国際教育科目を2単位以上、研究領域教育科目を4単位以上、創成工学教育科目を8単位以上、特別研究を8単位修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 ただし、社会人学生は次のとおりとする。 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から4単位以上、研究領域教育科目を2単位以上、創成工学教育科目を2単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 《国際プログラム》 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から2単位以上、研究領域教育科目を12単位以上(特論8単位以上、演習4単位以上)、特別研究8単位修得し、修得単位数の合計が30単位以上となること。ただし、合計30単位の中には、国際対応科目を12単位以上含む必要がある。 (2) 必要な研究指導(研究倫理教育を含む)を受けたうえで、学位論文の審査及び最終試験に合格する。 (3) 国際会議などで英語による研究発表を行う。											

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	知的財産権出願特論	1前		1							兼2
	ISO学特論	1後		1							兼1
	工学展望特論(社会人向け)	1・2前		2		8	11				兼66
	ベンチャービジネス特論	1後		1							兼4
	論文発表演習	1・2通		1		8	11				兼66
	企画力養成演習	1後		1							兼2
	大学院・国内インターンシップ	1・2通		2		8	11				兼66
	大学院・長期インターンシップ	1・2通		3		8	11				兼66
	国際特別講義Ⅰ	1・2通		1		8	11				兼66
	国際特別講義Ⅱ	1・2通		1		8	11				兼66
	小計(10科目)	—	0	14	0	8	11	0	0	0	兼75
国際教育科目	コミュニケーション英語	1・2通		1							兼4
	国際会議発表演習	1・2通		1		8	11				兼66
	学術英語論文発表	1・2通		1		8	11				兼66
	国際インターンシップ	1・2通		3		8	11				兼66
	短期留学	1・2通		3		8	11				兼66
	小計(5科目)	—	0	9	0	8	11	0	0	0	兼70
専攻指定科目	機械工学特別演習	1・2前	2				7		1		兼5
	小計(1科目)	—	2	0	0	0	7	0	1	0	兼5
研究領域教育科目	固体物理学特論	1・2後		2		1			1		
	先端量子技術特論	1・2後		2		1			1		
	先端量子技術演習	1・2前		1		1			1		
	メカトロニクス工学特論	1・2前		2		1					
	メカトロニクス工学演習Ⅰ	1・2前		1		1			1		
	メカトロニクス工学演習Ⅱ	1・2後		1		1			1		
	ロボット工学特論	1・2前		2			1				
	ロボット工学演習Ⅰ	1・2前		1			1				
	ロボット工学演習Ⅱ	1・2後		1			1				
	機械情報システム特論	1・2後		2			1				
	機械制御工学特論	1・2前		2		1					
	機力・制御・情報演習Ⅰ	1・2前		1			1				
	機力・制御・情報演習Ⅱ	1・2後		1		1	1				
	固体力学特論	1・2前		2		1					
	固体力学演習	1・2後		1		1			1		
	バイオメカニクス特論	1・2後		1		1			1		
	品質工学・実験計画法特論	1・2前		2			1				
	品質工学・実験計画法演習	1・2後		1			1				
	連続体力学特論	1・2後		1		1			1		
	機械知能学特論	1・2前		2		1	0				兼0
	機械知能学演習Ⅰ	1・2前		1		1			1		
	機械知能学演習Ⅱ	1・2後		1		1			1		
	材料機能学特論	1・2後		1			1				
	接合工学特論	1・2前		1			1				
	接合工学演習	1・2後		1			1				
	難削材加工特論	1・2後		1			1				
	NC加工法実習	1・2前		1			1				
	ナノテクノロジー特論	1・2前		2		1					
	ナノテクノロジー演習	1・2後		1		1					
	トライボロジー特論	1・2前		2			1				
	トライボロジー演習	1・2後		2			1				
	機能加工特論	1・2前		2			1				
	機能加工演習	1・2後		2			1				

	多体系物理学特論	1・2前		2			1				
	多体系物理学演習	1・2前		2			1				
	流体工学特論	1・2前		2		1					
	流体工学演習	1・2前		2		1					
	エネルギー環境機械特論	1・2後		2			1				
	エネルギー環境機械演習	1・2後		2			1				
	応用熱工学特論	1・2前		2		0	1				兼2
	応用熱工学演習	1・2後		2		0	1				
	熱エネルギーシステム特論	1・2前		2		0	1				兼1
	熱エネルギーシステム演習	1・2後		2							兼1
	流動現象学特論	1・2前		2		1					
	流動現象学演習	1・2後		2		1			1		
	環境流体熱工学特論	1・2前		2			1				
	環境流体熱工学演習	1・2後		2			1				
	小計(47科目)	—	0	75	0	7	11	0	4	0	兼3
創 成 工 学 教 育 科 目	生産管理論特論Ⅰ	1前		2							兼1
	生産管理論特論Ⅱ	1後		2							兼1
	ものづくり管理工学特論	1前		2							兼1
	実践企業学	1前		1							兼1
	造船工学特論	1後		2							兼12
	先輩から学ぶ先端科学技術	1後		2							兼8
	機械創成工学特論A	1・2前		1		3					
	機械創成工学特論B	1・2前		1		1	1				兼1
	機械設計製作法特論及び演習・実習	1通		4		1	3		2		
	電気システム設計演習	1・2前		2							兼3
	環境創成実践特論	1前		2							兼1
	材料創成工学特論	1前		2							兼4
	建築学特別制作	1・2通		1							兼12
	建築学特別調査	1・2通		1							兼12
	情報創成工学特論	2後		2							兼13
	小計(15科目)	—	0	27	0	4	4	0	2	0	兼57
特 別 研 究	機械工学特別研究Ⅰ	1前	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅱ	1後	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅲ	2前	2			8	11				
	機械工学特別研究Ⅳ	2後	2			8	11				
	小計(4科目)	—	8	0	0	8	11				0
合計(82科目)		—	10	125	0	8	11	0	5	0	兼115
卒業要件及び履修方法											
(1) 2年以上在学し、選択した研究領域プログラムあるいは、創成工学プログラム、国際プログラムで次のとおり単位を修得する。 《研究領域プログラム》 専攻指定科目を2単位、研究科共通科目を3単位以上、国際教育科目を2単位以上、研究領域教育科目を8単位以上(特論6単位以上、演習2単位以上)、創成工学教育科目を4単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 ただし、社会人学生は次のとおりとする。 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から4単位以上、研究領域教育科目を4単位以上、創成工学教育科目を2単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 《創成工学プログラム》 専攻指定科目を2単位、研究科共通科目を3単位以上、国際教育科目を2単位以上、研究領域教育科目を4単位以上、創成工学教育科目を8単位以上、特別研究を8単位修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 ただし、社会人学生は次のとおりとする。 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から4単位以上、研究領域教育科目を2単位以上、創成工学教育科目を2単位以上、特別研究8単位を修得し、修得単位数の合計が30単位以上であること。 《国際プログラム》 専攻指定科目、研究科共通科目及び国際教育科目の中から2単位以上、研究領域教育科目を12単位以上(特論8単位以上、演習4単位以上)、特別研究8単位修得し、修得単位数の合計が30単位以上となること。ただし、合計30単位の中には、国際対応科目を12単位以上含む必要がある。 (2) 必要な研究指導(研究倫理教育を含む)を受けたうえで、学位論文の審査及び最終試験に合格する。 (3) 国際会議などで英語による研究発表を行う。											

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例: 記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・教員配置見直しの理由により、「機力・制御・情報演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「バイオメカニクス特論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「連続体力学特論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員配置見直しの理由により、「機械知能学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・「機械知能学演習Ⅰ」を新規科目として追加し、専任教員として「教授1」、「助教1」を配置。
- ・「機械知能学演習Ⅱ」を新規科目として追加し、専任教員として「教授1」、「助教1」を配置。
- ・退職の理由により、「応用熱工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、教員配置見直しの理由により、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・退職の理由により、「応用熱工学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・退職の理由により、「熱エネルギーシステム特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、教員配置見直しの理由により、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・退職の理由により、「機械創成工学特論B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

【令和6年度】

- ・カリキュラム時間割見直しの理由により、「ロボット工学特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
4 科目	76 科目	0 科目	80 科目	4 科目 []	78 科目 [2]	0 科目 []	82 科目 [2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{80} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	335,001 m ² 336,019 m²	0 m ²	0 m ²	335,001 m ² 336,019 m²				
	運動場用地	86,970 m ²	0 m ²	0 m ²	86,970 m ²				
	小 計	421,971 m ² 422,989 m²	0 m ²	0 m ²	421,971 m ² 422,989 m²				
	そ の 他	106,370 m ² 105,051 m²	0 m ²	0 m ²	106,370 m ² 105,051 m²				
	合 計	528,341 m ² 528,040 m²	0 m ²	0 m ²	528,341 m ² 528,040 m²				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		180,049 m ² 179,996 m² 179,251 m ²	0 m ²	0 m ²	180,049 m ² 179,996 m² 179,251 m ²	大学全体			
		(180,049 m ²) (179,996 m²) (179,251 m²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(180,049 m ²) (179,996 m²) (179,251 m²)	改修等による増（６）			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		179室 177室 183室	65室 63室	343室 338室 228室	10室 11室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	大学全体 改修等による増減（６）		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		工学研究科機械工学専攻			24 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	工学研究科 大学全体	20,369 [7,382] 20,293 [7,372] 939,933 [229,089]	6,387 [6,162] 6,438 [6,234] 32,986 [20,551]	5,848 [5,844] 5,915 [5,911] 14,636 [14,632]	2,540 2,533 2,512	4,538 4,252 27,788	0 811	電子ジャーナルは 大学全体の数	
		(20,369 [7,382]) (20,293 [7,372]) (939,933 [229,089])	(6,387 [6,162]) (6,438 [6,234]) (32,986 [20,551])	(5,848 [5,844]) (5,915 [5,911]) (14,636 [14,632])	(2,540) (2,533) (2,512)	(4,538) (4,252) (27,788)	(0) (811)		
	計	20,369 [7,382] 20,293 [7,372] 939,933 [229,089]	6,387 [6,162] 6,438 [6,234] 32,986 [20,551]	5,848 [5,844] 5,915 [5,911] 14,636 [14,632]	2,540 2,533 2,512	4,538 4,252 27,788	0 811	購入計画等の見直しに よる変更のため(6)	
(6)図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		8,276 m ²		741		709,000			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		4,339 m ²		陸 上 競 技 場 , 野 球 場 , サ ッ カ ー ・ ラ グ ビ ー 場		テ ニ ス コ ー ト , プ ー ル , ハ ン ド ボ ー ル 場 ほ か		大学全体	
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当り 研究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		国費による
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- （注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（５）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において 赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		三 重 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
人文学部	4	245	3年次30人	1,040	-	1.05	1.02	-	昭和58	三重県津市栗真町屋町1577				
文化学科	4	92	3年次10	388	学士(人文科学)	1.06	1.03	-	昭和58	同上				
法律経済学科	4	153	3年次20	652	学士(法律経済)	1.04	1.01	-	昭和58	同上				
教育学部	4	200	-	800	-	1.03	1.01	-	昭和41	三重県津市栗真町屋町1577				
学校教育教員養成課程	4	200	-	800	学士(教育学)	1.03	1.01	-	平成9	同上				
医学部	-	205	3年次10	1,090	-	0.98	—	-	昭和47	三重県津市江戸橋2丁目174				
医学科	6	125	-	750	学士(医学)	1.00	1.00	令和6	昭和47	同上				
看護学科	4	80	3年次10	340	学士(看護学)	0.93	—	-	平成9	同上				
工学部	4	400	3年次30	1,660	-	1.06	1.00	-	昭和44	三重県津市栗真町屋町1577				
総合工学科	4	400	3年次30	1,660	学士(工学)	1.06	1.00	-	令和元	同上				
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	—	—	-	平成3	同上	令和元年度学生募集停止			
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	—	—	-	平成3	同上	令和元年度学生募集停止			
分子素材工学科	4	-	-	-	学士(工学)	—	—	-	平成2	同上	令和元年度学生募集停止			
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	—	—	-	昭和55	同上	令和元年度学生募集停止			
情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	—	—	-	平成元	同上	令和元年度学生募集停止			
物理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	—	—	-	平成9	同上	令和元年度学生募集停止			
生物資源学部		260	3年次10	1,060	-	1.05	1.05	-	昭和62	三重県津市栗真町屋町1577				
生物資源学科	4	260	3年次10	1,060	学士(生物資源学)	1.05	1.05	-	令和6	同上				
資源循環学科	4	-	-	-	学士(生物資源学)	—	—	-	平成12	同上	令和6年度学生募集停止			
共生環境学科	4	-	-	-	学士(生物資源学)	—	—	-	平成12	同上	令和6年度学生募集停止			
生物圏生命化学科	4	-	-	-	学士(生物資源学)	—	—	-	平成29	同上	令和6年度学生募集停止			
海洋生物資源学科	4	-	-	-	学士(生物資源学)	—	—	-	平成29	同上	令和6年度学生募集停止			
大学全体	4	1,185	3年次80	4,900	-	—	—	-	-	—				
	6	125		750	-	—	—	-	-	—				

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 機械工学専攻（M）>

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (研究科長)	池浦 良淳 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械制御工学特論 機力・制御・情報演習Ⅱ 機械創成工学特論B※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	小竹 茂夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 固体物理学特論 先端量子技術特論 先端量子技術演習 機械創成工学特論A※

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池浦 良淳 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械制御工学特論 機力・制御・情報演習Ⅱ 機械創成工学特論B※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	小竹 茂夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 固体物理学特論 先端量子技術特論 先端量子技術演習 機械創成工学特論A※

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池浦 良淳 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械制御工学特論 機力・制御・情報演習Ⅱ 機械創成工学特論B※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	小竹 茂夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 固体物理学特論 先端量子技術特論 先端量子技術演習 機械創成工学特論A※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	矢野 賢一 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 メカトロニクス工学特論 メカトロニクス工学演習Ⅰ メカトロニクス工学演習Ⅱ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	稲葉 忠司 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 固体力学特論 固体力学演習 バイオメカニクス特論 連続体力学特論 機械創成工学特論A※ 機械設計製作法特論及び演習・実習※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	高橋 裕 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 ナノテクノロジー特論 ナノテクノロジー演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	矢野 賢一 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 メカトロニクス工学特論 メカトロニクス工学演習Ⅰ メカトロニクス工学演習Ⅱ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ 機械知能学特論 機械知能学演習Ⅰ 機械知能学演習Ⅱ
専	教授	稲葉 忠司 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 固体力学特論 固体力学演習 バイオメカニクス特論 連続体力学特論 機械創成工学特論A※ 機械設計製作法特論及び演習・実習※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	高橋 裕 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 ナノテクノロジー特論 ナノテクノロジー演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	矢野 賢一 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 メカトロニクス工学特論 メカトロニクス工学演習Ⅰ メカトロニクス工学演習Ⅱ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ 機械知能学特論 機械知能学演習Ⅰ 機械知能学演習Ⅱ
専	教授	稲葉 忠司 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 固体力学特論 固体力学演習 バイオメカニクス特論 連続体力学特論 機械創成工学特論A※ 機械設計製作法特論及び演習・実習※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	高橋 裕 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 ナノテクノロジー特論 ナノテクノロジー演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	前田 太佳夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 流体工学特論 流体工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	廣田 真史 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 応用熱工学特論 応用熱工学演習 熱エネルギーシステム特論 機械創成工学特論B※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	辻本 公一 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 流動現象学特論 流動現象学演習 機械創成工学特論A※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	前田 太佳夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 流体工学特論 流体工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	辻本 公一 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 流動現象学特論 流動現象学演習 機械創成工学特論A※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	前田 太佳夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 流体工学特論 流体工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	教授	辻本 公一 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 流動現象学特論 流動現象学演習 機械創成工学特論A※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 典彦 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ ロボット工学特論 ロボット工学演習Ⅰ ロボット工学演習Ⅱ 機械知能学特論 機械創成工学特論B※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	早川 聡一郎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 機械情報システム特論 機力・制御・情報演習Ⅰ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		鈴木 泰之 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
専	教授	工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	加藤 典彦 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ ロボット工学特論 ロボット工学演習Ⅰ ロボット工学演習Ⅱ 機械創成工学特論B※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	早川 聡一郎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 機械情報システム特論 機力・制御・情報演習Ⅰ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ 機力・制御・情報演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		鈴木 泰之 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
専	教授	工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	加藤 典彦 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ ロボット工学特論 ロボット工学演習Ⅰ ロボット工学演習Ⅱ 機械創成工学特論B※ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	早川 聡一郎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 機械情報システム特論 機力・制御・情報演習Ⅰ 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ 機力・制御・情報演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鎌田 泰成 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ エネルギー環境機械特論 エネルギー環境機械演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	西村 顕 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 応用熱工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	安藤 俊剛 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 環境流体熱工学特論 環境流体熱工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鎌田 泰成 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ エネルギー環境機械特論 エネルギー環境機械演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	西村 顕 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 応用熱工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ 応用熱工学特論 熱エネルギーシステム特論
専	准教授	安藤 俊剛 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 環境流体熱工学特論 環境流体熱工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鎌田 泰成 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ エネルギー環境機械特論 エネルギー環境機械演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	西村 顕 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 応用熱工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ 応用熱工学特論 熱エネルギーシステム特論
専	准教授	安藤 俊剛 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 環境流体熱工学特論 環境流体熱工学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鳥飼 正志 ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 多体系物理学特論 多体系物理学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	中村 裕一 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 トライボロジー特論 トライボロジー演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	松井 正仁 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機能加工特論 機能加工演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鳥飼 正志 ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 多体系物理学特論 多体系物理学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	中村 裕一 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 トライボロジー特論 トライボロジー演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	松井 正仁 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機能加工特論 機能加工演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鳥飼 正志 ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 多体系物理学特論 多体系物理学演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	中村 裕一 ＜令和5年4月＞ 工学博士
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 トライボロジー特論 トライボロジー演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ
専	准教授	松井 正仁 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機能加工特論 機能加工演習 機械工学特別研究Ⅰ 機械工学特別研究Ⅱ 機械工学特別研究Ⅲ 機械工学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	河村 貴宏 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		機械工学特別演習※ 固体物理学特論 先端量子技術特論 先端量子技術演習
専	助教	松井 博和 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		メカトロニクス工学演習Ⅰ メカトロニクス工学演習Ⅱ
専	助教	馬場 創太郎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		固体力学演習 機械設計製作法特論及び演習・実習※
専	助教	尾崎 仁志 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		機械設計製作法特論及び演習・実習※
専	助教	高橋 護 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		流動現象学演習
兼任	特任准教授	CERVANTES MARIA CONCEPCION ALARKON ＜令和5年4月＞ 学士（文学）、学士（法学）
		コミュニケーション英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	河村 貴宏 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		機械工学特別演習※ 固体物理学特論 先端量子技術特論 先端量子技術演習
専	助教	松井 博和 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		メカトロニクス工学演習Ⅰ メカトロニクス工学演習Ⅱ 機械知能学演習Ⅰ 機械知能学演習Ⅱ
専	助教	馬場 創太郎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		固体力学演習 機械設計製作法特論及び演習・実習※ バイオメカニクス特論 連続体力学特論
専	助教	尾崎 仁志 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		機械設計製作法特論及び演習・実習※
専	助教	高橋 護 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		流動現象学演習
兼任	特任准教授	CERVANTES MARIA CONCEPCION ALARKON ＜令和5年4月＞ 学士（文学）、学士（法学）
		コミュニケーション英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	河村 貴宏 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		機械工学特別演習※ 固体物理学特論 先端量子技術特論 先端量子技術演習
専	助教	松井 博和 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		メカトロニクス工学演習Ⅰ メカトロニクス工学演習Ⅱ 機械知能学演習Ⅰ 機械知能学演習Ⅱ
専	助教	馬場 創太郎 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		固体力学演習 機械設計製作法特論及び演習・実習※ バイオメカニクス特論 連続体力学特論
専	助教	尾崎 仁志 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		機械設計製作法特論及び演習・実習※
専	助教	高橋 護 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		流動現象学演習
兼任	特任准教授	CERVANTES MARIA CONCEPCION ALARKON ＜令和5年4月＞ 学士（文学）、学士（法学）
		コミュニケーション英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	太田垣（渡邊） 聡子 ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		コミュニケーション英語
兼任	教授	丸山 直樹 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 熱エネルギーシステム演習
兼任	准教授	狩野 幹人 ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		知的財産権出願特論
兼任	准教授	八神 寿徳 ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		知的財産権出願特論
兼任	講師	岩本 威生 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		ISO学特論
兼任	講師	岡部 周平 ＜令和5年4月＞ 修士（経営学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	小西 由樹子 ＜令和5年4月＞ 経営管理修士（MBA）
		ベンチャービジネス特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任准教授	太田垣（渡邊） 聡子 ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		コミュニケーション英語
兼任	教授	丸山 直樹 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 熱エネルギーシステム演習 熱エネルギーシステム特論 機械創成工学特論B※
兼任	准教授	狩野 幹人 ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		知的財産権出願特論
兼任	准教授	八神 寿徳 ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		知的財産権出願特論
兼任	講師	岩本 威生 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		ISO学特論
兼任	講師	小西 由樹子 ＜令和5年4月＞ 経営管理修士（MBA）
		ベンチャービジネス特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	丸山 直樹 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		工学展望特論(社会人向け) 論文発表演習 大学院・国内インターンシップ 大学院・長期インターンシップ 国際特別講義Ⅰ 国際特別講義Ⅱ 国際会議発表演習 学術英語論文発表 国際インターンシップ 短期留学 機械工学特別演習※ 熱エネルギーシステム演習 熱エネルギーシステム特論 機械創成工学特論B※
兼任	准教授	狩野 幹人 ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		知的財産権出願特論
兼任	准教授	八神 寿徳 ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		知的財産権出願特論 ベンチャービジネス特論
兼任	講師	岩本 威生 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		ISO学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松井 純 ＜令和5年4月＞ 修士（水産学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	上井 大輔 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	河野 廉 ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	山川 敏 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		企画力養成演習
兼任	講師	別府 孝文 ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		企画力養成演習
兼任	講師	DIAN PUTRI HASTUTI ＜令和5年4月＞ Master of Science（インドネシア）
		コミュニケーション英語
兼任	講師	FELIX CHAVEZ JOSE ANDRES ＜令和5年4月＞ 修士（工学）
		コミュニケーション英語
兼任	講師	横森 万 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		実践企業学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松井 純 ＜令和5年4月＞ 修士（水産学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	上井 大輔 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	河野 廉 ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	山川 敏 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		企画力養成演習
兼任	講師	別府 孝文 ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		企画力養成演習
兼任	講師	FELIX CHAVEZ JOSE ANDRES ＜令和5年4月＞ 修士（工学）
		コミュニケーション英語
兼任	講師	横森 万 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		実践企業学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松井 純 ＜令和5年4月＞ 修士（水産学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	上井 大輔 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	河野 廉 ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		ベンチャービジネス特論
兼任	講師	山川 敏 ＜令和5年4月＞ 学士（経営学）
		企画力養成演習
兼任	講師	別府 孝文 ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		企画力養成演習
兼任	講師	FELIX CHAVEZ JOSE ANDRES ＜令和5年4月＞ 修士（工学）
		コミュニケーション英語
兼任	講師	横森 万 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		実践企業学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 憲章 ＜令和5年4月＞ 工学士 ものづくり管理工学特論
兼任	講師	渡邊 明 ＜令和5年4月＞ 商学博士 生産管理論特論Ⅰ 生産管理論特論Ⅱ
兼任	講師	増子 章 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	矢島 弘貴 ＜令和5年4月＞ 学士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	桂木 忠吉 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	横井 博朗 ＜令和5年4月＞ 学士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	大矢部 直樹 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	水口 雅博 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	上野 慎也 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	田中 寿夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 造船工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 憲章 ＜令和5年4月＞ 工学士 ものづくり管理工学特論
兼任	講師	渡邊 明 ＜令和5年4月＞ 商学博士 生産管理論特論Ⅰ 生産管理論特論Ⅱ
兼任	講師	桂木 忠吉 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	横井 博朗 ＜令和5年4月＞ 学士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	水口 雅博 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	上野 慎也 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	田中 寿夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 造船工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 憲章 ＜令和5年4月＞ 工学士 ものづくり管理工学特論
兼任	講師	渡邊 明 ＜令和5年4月＞ 商学博士 生産管理論特論Ⅰ 生産管理論特論Ⅱ
兼任	講師	桂木 忠吉 ＜令和5年4月＞ 修士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	横井 博朗 ＜令和5年4月＞ 学士（工学） 造船工学特論
兼任	講師	田中 寿夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 造船工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梶 利光 ＜令和5年4月＞ 修士（工学）
		造船工学特論
兼任	講師	小出 剛史 ＜令和5年4月＞ 修士（工学）
		造船工学特論
兼任	講師	水野 滋也 ＜令和5年4月＞ 学士（工学）
		造船工学特論
兼任	講師	吉田 尚史 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		造船工学特論
兼任	講師	阪下 敬一 ＜令和5年4月＞ 工学士
		先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	中村 彰吾 ＜令和5年4月＞ 修士（工学）
		先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	高橋 俊之 ＜令和5年4月＞ 工学士
		先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	藺田 享志 ＜令和5年4月＞ 工学士
		先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	佐藤 幸喜 ＜令和5年4月＞ 工学士
		先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	都竹 広幸 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		先輩から学ぶ先端科学技術※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水野 滋也 ＜令和5年4月＞ 学士（工学）
		造船工学特論
兼任	講師	吉田 尚史 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		造船工学特論
兼任	講師	藺田 享志 ＜令和5年4月＞ 工学士
		先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	佐藤 幸喜 ＜令和5年4月＞ 工学士
		先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	都竹 広幸 ＜令和5年4月＞ 工学修士
		先輩から学ぶ先端科学技術※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水野 滋也 ＜令和5年4月＞ 学士（工学）
		造船工学特論
兼任	講師	吉田 尚史 ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		造船工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	出口 達也 ＜令和5年4月＞ 工学士 先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	大田 文夫 ＜令和5年4月＞ 工学士 先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	鬼頭 みずき ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 機械工学特別演習※
兼任	講師	土屋 雅彦 ＜令和5年4月＞ 工学修士 機械工学特別演習※
兼任	講師	山内 伸一 ＜令和5年4月＞ 博士（学術） 機械工学特別演習※
兼任	講師	野村 由司彦 ＜令和5年4月＞ 工学博士 機械知能学特論
兼任	講師	浅野 秀夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 応用熱工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	出口 達也 ＜令和5年4月＞ 工学士 先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	大田 文夫 ＜令和5年4月＞ 工学士 先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	鬼頭 みずき ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 機械工学特別演習※
兼任	講師	土屋 雅彦 ＜令和5年4月＞ 工学修士 機械工学特別演習※
兼任	講師	山内 伸一 ＜令和5年4月＞ 博士（学術） 機械工学特別演習※
兼任	講師	浅野 秀夫 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 応用熱工学特論
兼任	講師	廣田 真史 ＜令和5年4月＞ 工学博士 応用熱工学特論
兼任	講師	YOSEPHINE NOVITA APRIATI ＜令和5年4月＞ 修士（理学） コミュニケーション英語
兼任	講師	増田 聖始 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 造船工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	出口 達也 ＜令和5年4月＞ 工学士 先輩から学ぶ先端科学技術※
兼任	講師	鬼頭 みずき ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 機械工学特別演習※
兼任	講師	土屋 雅彦 ＜令和5年4月＞ 工学修士 機械工学特別演習※
兼任	講師	山内 伸一 ＜令和5年4月＞ 博士（学術） 機械工学特別演習※
兼任	講師	廣田 真史 ＜令和5年4月＞ 工学博士 応用熱工学特論
兼任	講師	YOSEPHINE NOVITA APRIATI ＜令和5年4月＞ 修士（理学） コミュニケーション英語
兼任	講師	増田 聖始 ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 造船工学特論

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・令和5年3月 教授 廣田 真史 退職
- ・令和5年4月 教授 鈴木 泰之 就任（令和5年3月研究科教授会審議済）

【令和6年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	11	0	5	24	0	8	11	0	5	24	0
(8)	(11)	0	(5)	(24)	0						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
19	8	5	0			19	8	5	0		
(19)	(8)	(5)	0								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
8	11	0	5	24	0	8	11	0	5	24	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
19	8	5	0			19	8	5	0		
[0]	[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{24}{24} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{24} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人		必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	廣田 真史	R5.3	選択	工学展望特論(社会人向け)	①	R5.3.31他大学へ異動のため辞任						
				選択	論文発表演習	①							
				選択	大学院・国内インターンシップ	①							
				選択	大学院・長期インターンシップ	①							
				選択	国際特別講義Ⅰ	①							
				選択	国際特別講義Ⅱ	①							
				選択	国際会議発表演習	①							
				選択	学術英語論文発表	①							
				選択	国際インターンシップ	①							
				選択	短期留学	①							
				選択	応用熱工学特論	①							
				選択	応用熱工学演習	①							
				選択	熱エネルギーシステム特論	①							
				選択	機械創成工学特論B	①							
				必修	機械工学特別研究Ⅰ	①							
				必修	機械工学特別研究Ⅱ	①							
				必修	機械工学特別研究Ⅲ	①							
				必修	機械工学特別研究Ⅳ	①							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	14	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	18 科目	計	18 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

1

24

=

4.16

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

人

(注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

シラバス等で学生に周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 機械工学専攻(M)>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FDに関する委員会は設置されていないが、FD活動の一環として各種研修会を実施している。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) FDに関する委員会は設置されていない。 c 委員会の審議事項等 FDに関する委員会は設置されていない。 ② 実施状況 a 実施内容 ・ コンプライアンス研修 ・ 全学、工学研究科の取り組みについて b 実施方法 教授会の前に開催 c 開催状況(教員の参加状況含む) コンプライアンス研修について、楠井法律事務所より説明。(参加者:14名) 全学、工学研究科の取り組みについて、研究科長より説明。(参加者:13名) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 知識の再確認、情報共有、今後の取組への改善に繋げられるようなFDとなった。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 実施している。前期・後期の各授業の最終回を目安に実施。 b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート結果は各教員にフィードバックしている。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況に関して、概ね計画通りに進行している。教育・研究体制は必要に応じて逐次さらに整備し、目的達成に向け充実を図っていくこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年3月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和3年度に大学機関別認証評価を受審済

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。